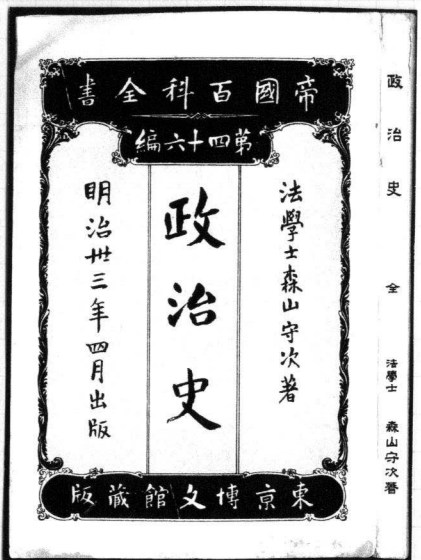


森山吐蛇 もりやま 明治八年佐賀縣生れ、昭和四年七月（二十日）没（一八七五—一九二九）。本名守次。教育家納富介次郎の次男。東京帝國大學法科大學卒。明治二十六年佐藤儀助（のち義亮）から、雑誌『新聲』及び新聲社の出版権を正岡藝陽の仲介によりて譲り受け、藝陽主幹として九月號より發足も、翌年六月號を以て休刊。この期の新聲社から、ゴリ作・塚原遊村 譯『蠶勇』（明治二十六年十月十七日刊）、河東碧梧桐著『作話漫話』（十一月十一日刊）、正岡藝陽著『ぞれ女の心』（十一月（二十一日）刊）、田山花袋作『春潮』（十二月十三日刊）、二島霜川作『スケツ子』（明治二十七年一月一日刊）、小川煙村作『土蠶民蠶』（ユーゴー原作、二月七日刊）、正岡藝陽著『大馬鹿論』（二月（二十六日）刊）等を出版した。日露戰役中、露都に滞在し『滿洲日日新聞』を創刊。四十年太平洋通信社を創立して週刊誌『サンデー』を發刊。

著書に『政治史』（明治二十二年四月十八日博文館『帝國百科全書』）、『メツケルニツピ』（森山守治名、明治二十四年十一月五日博文館『世界歴史叢刊』）等。



政治史 全 法學士 森山守次著